LES MILLS Virtual AV ガイド

概要

このガイドでは、Les Mills Virtual アプリのセットアップの方法を説明します。

必ず全てのインストールおよび機器のガイドラインに従ってください。

インストール

各責任者について

AV デザイン	機器、オートメーション（自動化）、スタジオ構成の指定	AV パートナー
AV インストール	すべてのハードウェアおよびAV機器の完全インストール	AV パートナー
バーチャル・プレイヤー	Virtualアプリおよびスケジューラーのセットアップ	AV パートナー/クラブ
オートメーション（自動化）	ケーブルの取り付け、コーディング、テスト	AV パートナー
技術テスティング	クラスのスケジューリングと委託および再生、オートメーション とサインオフを含む、完全なAVセットアップのテスト	AV パートナー
トラブルシューティング	AVインストーラーからのインストールプロセス全体に関する質問への対応	AV パートナー/Les Mills

必要環境

快適なVirtual体験をしていただくためには、以下の機器が必要となります。

デスクトップ/ノートブックコンピューター、およびウェブ上のLes Mills Virtual Schedulerにアクセスするためのインターネット接続とChromeブラウザ。

アップル製品

- Apple iPad Pro- 11または12.9インチ、最低512GBのストレージ容量のもの
- Apple iPad パワーアダプター30W（通常は含まれていません）
- Apple USB-CデジタルAVマルチポートアダプター　Appleの正規品をご利用ください。コピー製品は耐久性に欠ける場合や、期待どおりに機能しない場合があります。摩耗を防ぐため、ストレインリリーフもご用意ください。
- Apple（またはKanex）USB-C-イーサネットアダプター

ケーブル、EDIDエミュレーションおよびオーディオ抽出

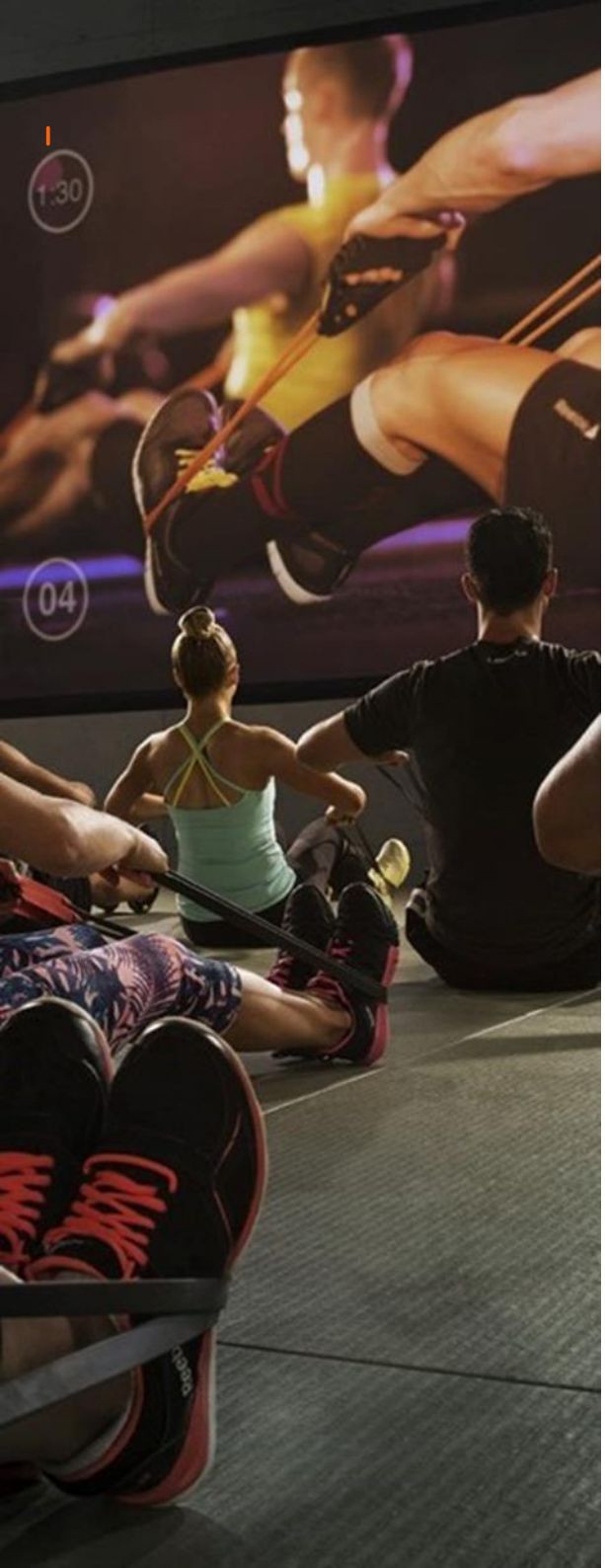
- HDMIケーブルx 2 –短いケーブル１本とアクティブタイプのケーブル１本（長い距離の場合はHDBaseTまたはHDMI over IPが必要）
- Cat5ネットワークケーブルx 3（設定次第）
- オーディオ接続ケーブル
- オーディオ抽出機能を備えたEDIDエミュレーター - ディスプレイとiPad間の通信を安定させ、ビデオ信号が常にディスプレイに届くようにするために不可欠です。

推奨事項および詳細は、こちらをご覧ください：

EDIDとは何ですか？なぜ必要ですか？

スタジオ機器

- iPad用の壁または床マウント – 通気性がよく、セキュリティーロック及びApple USB-Cアダプター用のスペースがあるもの
- LEDビデオウォール、LCDタイルビデオウォール、またはプロジェクターとスクリーン
- 専用ルーター - システムがLes Mills Virtual Schedulerに接続し、オートメーションコマンドを送信するために必要です。（ルーターの推奨：600MBPのデュアルバンド対応）



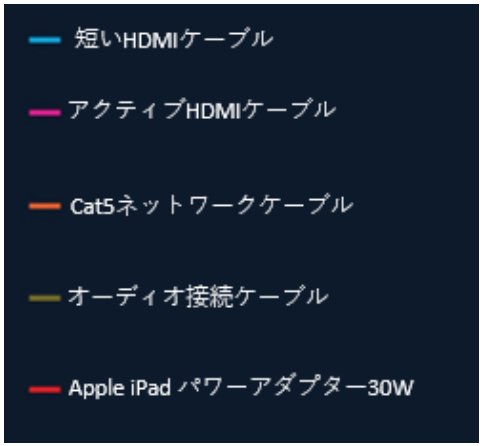
スタジオのセットアップ

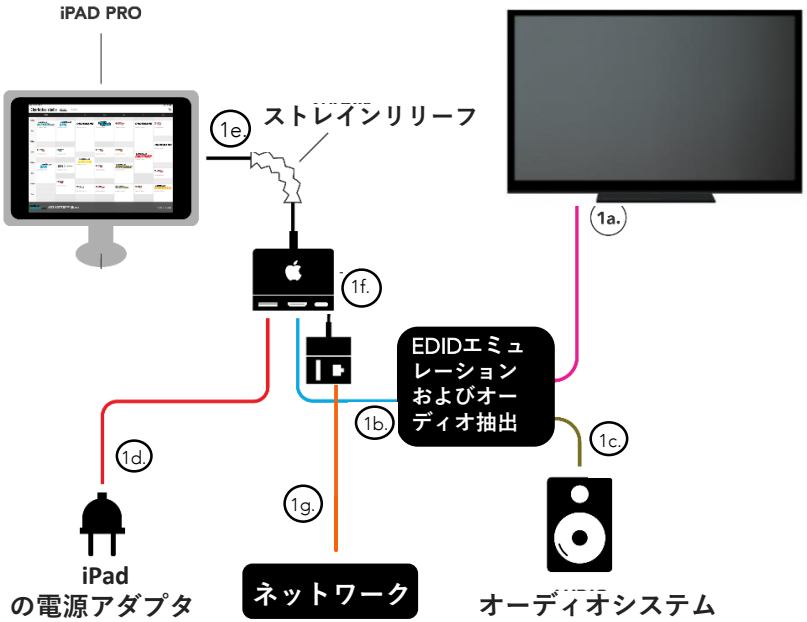
オートメーションなしの場合

手順（バーチャルコンテンツのダウンロード後）：

1a. アクティブHDMIケーブルを外部ディスプレイとEDIDエミュレーターに接続
1b. 短いHDMIケーブルをEDIDエミュレーターとApple USB-CデジタルAVマルチポートアダプターに接続
1c. オーディオケーブルをEDIDエミュレーターからサウンドシステムに接続
1d. Apple iPad Proパワーアダプター（30W）をApple USB-CデジタルAVマルチポートアダプターに接続
1e. Apple USB-CデジタルAVマルチポートアダプターをiPad Proに接続（ストレインリリーフ使用）
1f. Apple USB-AイーサネットアダプターをApple USB-CデジタルAVマルチポートアダプターに接続
1g. Apple USB-AイーサーネットアダプタからCat5ネットワークケーブルをネットワークに接続
1h. iPad Proの電源を入れる
1i. 外部ディスプレイの電源を入れ、HDMIケーブルの正しい入力ソースを選択
この段階では、外部ディスプレイはiPadのデスクトップアイコンを表示しているはずです
1j. タップしてLes Mills Virtualアプリを開く

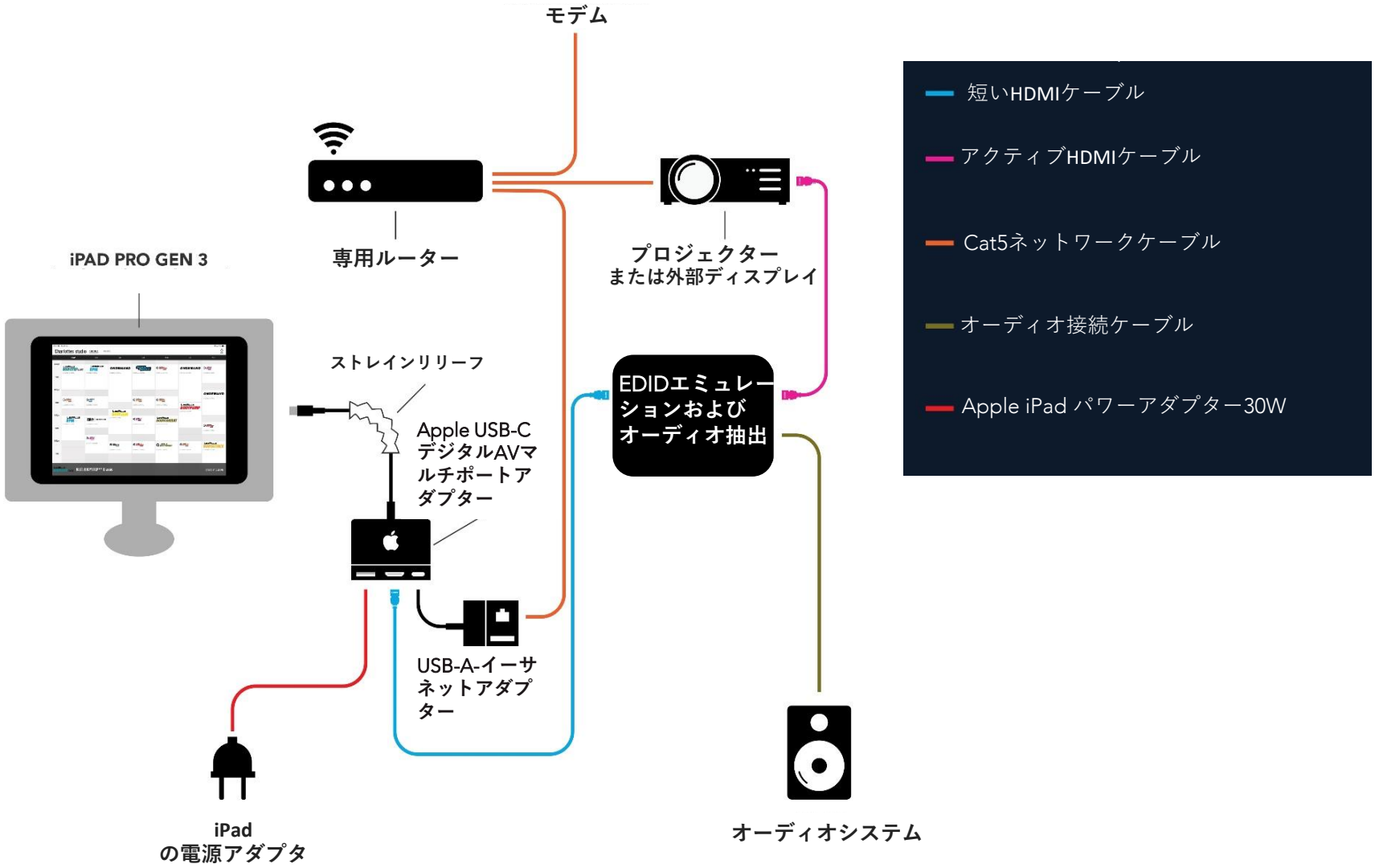
これで、外部ディスプレイが黒くなり、バーチャルクラスのビデオを再生できるようになります。





スタジオ オートメーション

Les Mills Virtualアプリは、ネットワークを使用してオートメーションコマンドを送受信するために使用される一般的な通信方法であるPJLINKプロトコルを使用して、オートメーションコマンドをプロジェクターに送信します。また、VirtualアプリはAVオートメーションコントロールシステム（Crestron、AMX、Extronなど）に簡単に統合でき、TCPプロトコルとUDPプロトコルの両方をサポートします。



スタジオ オートメーション

PJLINKのプロジェクターとルーターのセットアップ

必要環境：

- 専用デュアルバンドルーター
- PJLINK対応プロジェクター

配置：

ルーターは、2本のCat5ネットワークケーブルを介してVirtual iPadとプロジェクターに接続する必要があります

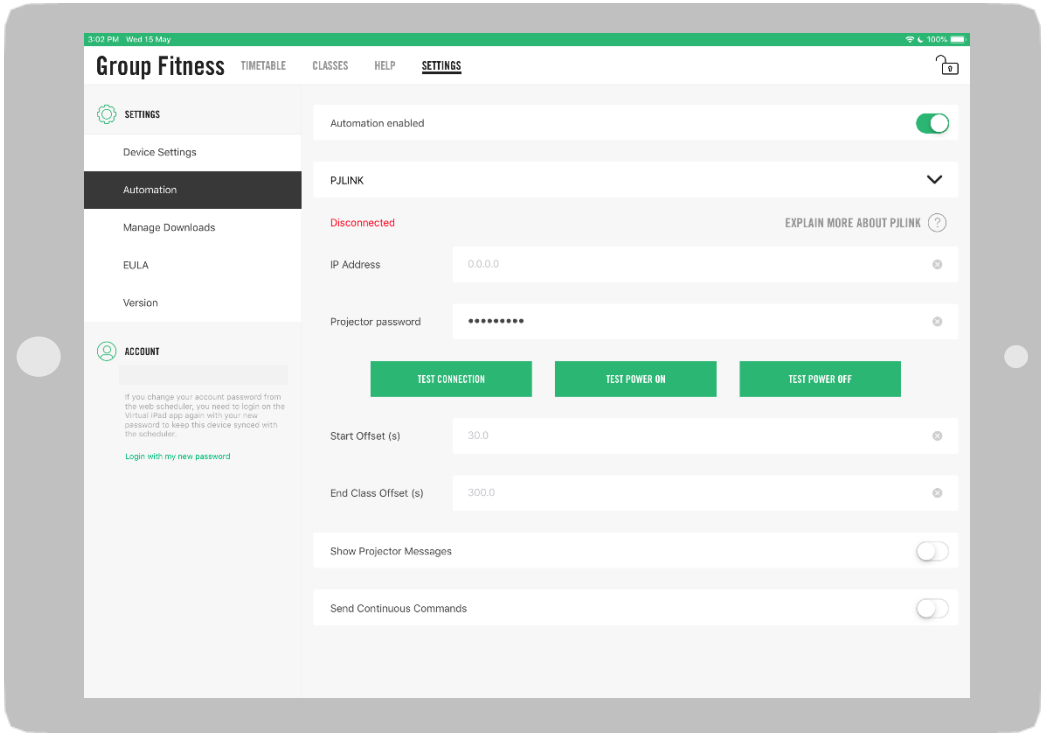
プロジェクター設定：

- プロジェクターを設定するときは、プロジェクターのブラウザベースの設定ではなく、プロジェクターのローカルメニューを使用してください。（一般的に、ブラウザベースのプロジェクターメニューは、オンボードメニューほど完全ではありません）。
- プロジェクターをHDMIケーブルで接続するときは、他の入力ソースを無効にしてください。VirtualiPadとプロジェクター間の安定した接続が維持され、起動時に正しい入力ソースが選択されます。
- プロジェクターを[ネットワークスタンバイ]モードにします。これにより、プロジェクターの電源がオフの場合も、プロジェクターの通信ポートが解放されたままになります。プロジェクターがネットワークスタンバイモードになっている場合でも、プロジェクターのネットワーク接続は有効となるはずです。詳しくはプロジェクターのマニュアルをご参照ください。
- プロジェクターが自動的にオフになる可能性のある機能（省エネ機能など）は無効にしてください。
- ネットワーク上で確実に見つけられるように、プロジェクターには静的IPアドレスをご利用ください。このIPはiPadと同じ範囲内にある必要があります。オートメーションが必要な場合は、プロジェクターをネットワークに接続する際にDHCPを使用しないでください。静的IPの設定方法については、プロジェクターのマニュアルを参照してください。
- プロジェクターのIPアドレスとパスワードを必ずメモしてください（プロジェクターのユーザーインターフェイスの[ネットワーク設定]または[情報]サブメニューにあります。IPアドレスの例は192.168.0.10です）。 Les Mills VirtualアプリでPJLINK オートメーションをセットアップするには、このIPアドレスが必要になります。

ルーターのセットアップ：

ルーターは、ローカル環境のパソコンでセットアップおよび設定をする必要があります。その際はルーターのインストールソフトウェア（NetgearのInstallation Genieなど）をご利用ください。

スタジオ
オートメーション



インストールガイドPJLINK

必要環境：
- iPadとプロジェクター（静的IP上）は同じネットワークに接続する必要があります
- PJLINK対応のプロジェクターを持っている
- PJLINKにプロジェクターが使用するポートは、ファイアウォールによって制御されていない（ポート4352）

インストール：

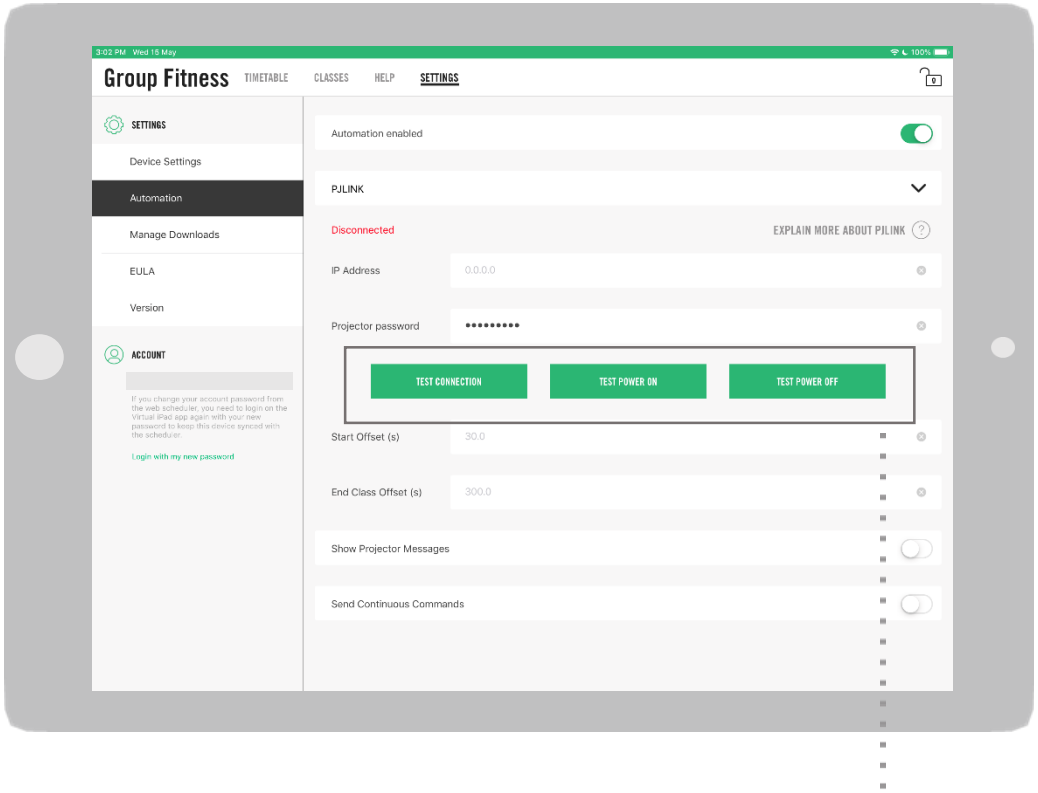
1.プロジェクターの設定をチェックして、通信が有効になっていることを確認。有効でない場合、オンまたはオフにするコマンドをプロジェクターが受信できない場合があります

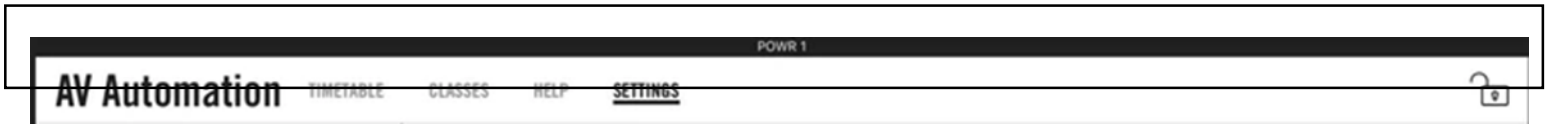
2.プロジェクターのIPアドレスとパスワードがあることを確認。（デフォルトのパスワードのままにしておくことをお勧めします。その場合、プロジェクターを交換またはリセットしても、パスワードは有効です）

Les Mills Virtualアプリのオートメーション（自動化）セットアップ：
Les Mills Virtualアプリの右上にある南京錠をクリックします
4桁の管理コードを入力
[設定]> [自動化]に移動
自動化をオンに切り替え（緑）
ドロップダウンからPJLINKを選択
プロジェクターのIPアドレスとパスワードを入力
ステータスが「接続済み」であることを確認

注：ステータスが「接続されていません」または「接続中」の場合、自動化コマンドは送信されません。

スタジオ
オートメーション





PJLINKのテスト

[テスト]ボタンを利用して、PJLINK接続をテストします。送信されたコマンドは、iPad画面の上部にあるリボンに表示されます。これを機能させるには、プロジェクターメッセージを有効にする必要があります。

[接続をテスト]で送信されるコマンド: %1POWR(SP)?<CR>
[電源オンをテスト]で送信されるコマンド: %1POWR(SP)1<CR>
[電源オフをテスト]で送信されるコマンド: %1POWR(SP)0<CR>

注: (SP)はスペース、(CR)は改行を示します

管理モードでのAVオートメーションのテスト

南京錠を押して、管理コードを入力
[クラス]を押して、再生するクラスを選択
再生アイコンを押して再生を開始（フッターにシークバーや他のプレーヤーコントロールが表示されます）

スタジオ
オートメーション

オフセットの開始とオフセットの終了

オフセットの開始・終了により再生をきめ細かく制御することができます。クラブの特定プロジェクター/ AVシステムの電源入切に要する時間を考慮するこの機能を使うことで、イベントの遅延を無くし、メンバーのクラスを中断なしに執り行うことができます。オフセットは、オンデマンド/管理モードおよび予定されたプレイバックに適用されます。

予定されたプレイバックの場合
[オフセット開始]
このフィールドを利用して、プロジェクターの電源を入れてからビデオの再生を開始するまでの時間を調整します。デフォルトは30秒です。

[電源オン]コマンドは、スケジュールされたクラスのx秒前に送信されます。ビデオは時間通りに再生を開始します。

[オフセット終了]
スケジュールされたビデオが終了した後、次に予定されたイベントが[オフセット終了]の時間前である場合、プロジェクターの電源はオフになりません。デフォルトおよび推奨は5分（300秒）です。

オンデマンド再生
[オフセット開始]
iPadにタイマー画面が表示され、ビデオの再生が始まるまでの時間をカウントダウンします。

[オフセット終了]
[オフセット終了]カウントダウンが終了するまで、プロジェクターの電源はオフになりません。この時間より前に新しいクラスが開始されると、ビデオが停止するまでプロジェクターの電源はオフになりません。

PJLINKの詳細を説明する
各フィールドの説明と、さまざまな接続ステータスの意味を確認するには、
[PJLINKの詳細]をクリックしてください

スタジオ
オートメーション

プロジェクターメッセージを表示する

有効にすると、接続されたPJLINKプロジェクターから受信したメッセージがiPad画面の上部に表示されます。

Show Projector Messages

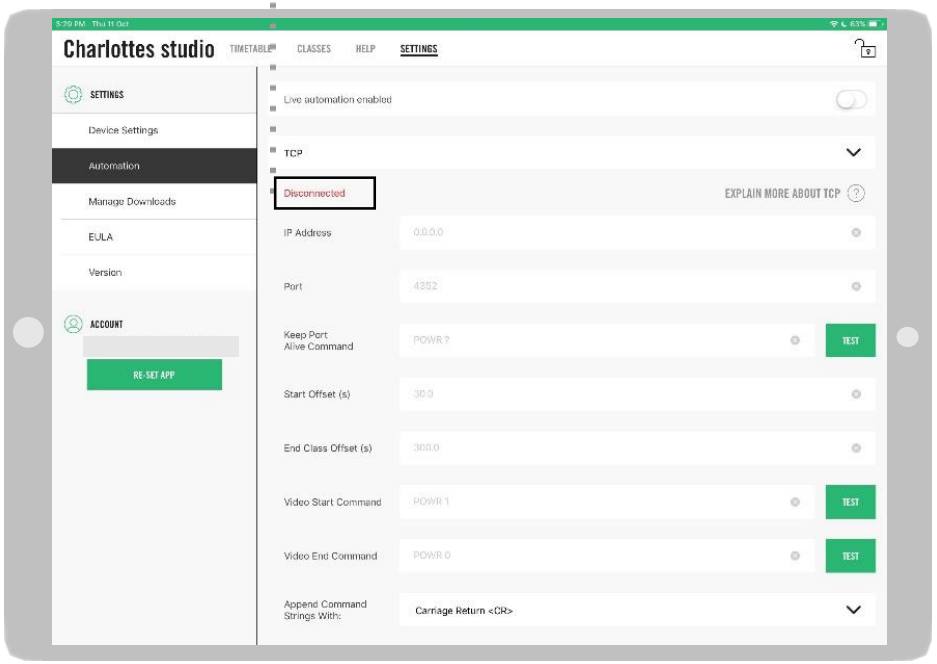
連続コマンドを送信

絶えずコマンドを送信することにより、一部のメーカー/モデルのプロジェクターの自動化パフォーマンスを改善できます。

Send Continuous Commands

高度なスタジオ
オートメーション

ステータスが「接続されていません」の場合、自動化コマンドは送信されておらず、なんらかの問題を示します。



注：オフセットは、オンデマンド/管理モード、予定されたプレイバック、およびライブオートメーションに適用されます。

インストールガイド-TCP / UDP

必要環境：
- Virtual iPad、自動化ユニット、および自動化されるデバイス（プロジェクターなど）は、静的IP上の同じネットワークに接続されていること。
- TCP/UDPに使用されるポートは、ファイアウォールによって制御されていないこと

インストール：

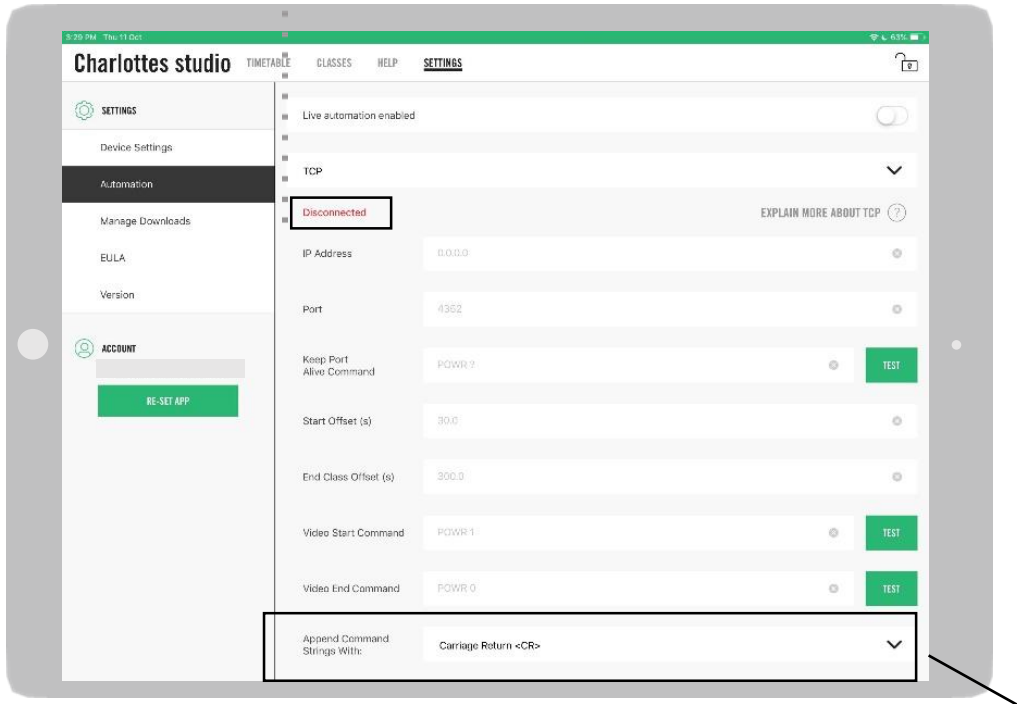
Les Mills Virtualアプリの右上にある南京錠をクリック
4桁の管理コードを入力
[設定]> [自動化]に移動
[自動化]を[オン]に切り替え（緑）
TCPまたはUDPを選択

3.ライブクラスのカスタム「ビデオ開始コマンド」（予定されたVirtualクラスのビデオ開始コマンドとは異なる）を送信する場合は、「ライブオートメーションを有効にする」を選択

4.自動化ユニットに接続するためのIPアドレスとポートの詳細を入力

高度なスタジオ
オートメーション

ステータスが「接続されていません」の場合、
自動化コマンドは送信されません



テストボタン
テストボタンはそれぞれのコマンド文字列を送信し、送信されているコマンドは画面の上部に細い線として表示されます。

5. 必要に応じて、次の値をカスタマイズします：

[ポートを維持]コマンド
- 60秒ごとに、ユーザー定義の「ポートを維持する」コマンドがネットワーク経由で送信されます。これにより、堅牢な接続が維持されます。

オフセット開始
- ビデオの再生が始まるx秒前に、クラスの開始が送信されます

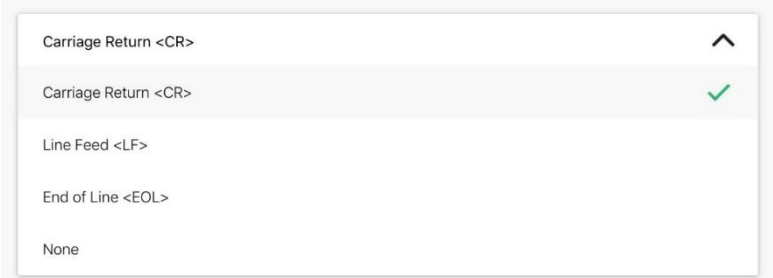
クラスオフセット終了
- オフセット終了時間は、[ビデオ終了]コマンドを送信する前にカウントダウンされます。オフセット終了時間に達する前に[ビデオ開始]コマンドを受信した場合、[ビデオ終了]コマンドは無効になります。

[ビデオ開始]コマンド
- クラスの開始時にTCP / UDP自動化ユニットデバイスに送信されるカスタムコマンド

[ビデオ終了]コマンド
- クラスの終了時にTCP / UDP自動化ユニットデバイスに送信されるカスタムコマンド

[ライブクラス開始]コマンド（ライブクラスオートメーションが有効な場合）
- ライブクラスの開始時にTCP / UDPオートメーションユニットデバイスに送信されるカスタムコマンド

6.オートメーションユニットまたは他のハードウェアが特定のコマンドに応答しない場合は、次のオプションのいずれかを選択してコマンドを終了する必要がある場合があります。



7. 最後に、緑色の「接続中」ステータスが表示されていることを確認します。 UDPの場合、ステータスは「準備完了」と表示されます。

注：ASC11コマンドのみ使用できます。 HEXのみを受け入れるデバイスはご利用いただけません。

ヘルプ＆サポート

２４時間いつでも以下のリンクからサポートチケットを送信できます
https://www.lesmills.com/virtual/virtual-support/